スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

秋田県　秋田市

自 治 体 名 ： 秋田県秋田市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： ０１８-８８８-５８０８

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	905.67 ㎢
人口	296,828人
公立中学校数	20 校
公立中学校生徒数	6,457人
部活動数	226 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

○秋田市の中学校部活動の現状について

令和６年度における本市の中学校生徒数は、6,457人で、前年度より122人減少しており、平成23年度と比較すると、1,976人の減少となっている。

少子化は部活動の加入数にも影響しており、平成23年度には、7,570人（運動部5,856人、文化部1,714人）在籍していた部員が、令和６年度には、4,916人（運動部3,450人、文化部1,466人）に減少している。また、学校単位でのチーム編成が困難となってきた団体種目の部活動が、合同チームとして登録するなど、従来の枠組みでの部活動の維持が一層難しくなっている現状にある。

○令和６年度の実証事業で捉えた課題について

本市では、今年度より秋田市教育委員会が主体となり「合同地域スポーツ活動」を開始したが、一番苦慮したことは指導者の確保であった。前年度から「スタッフリスト」を作成し、教職員や元教員、部活動指導員等を対象に参加意向調査を実施した他、各関係団体等からの協力を得て必要人数を確保することができ、活動を開始することができた。今後も、持続可能な活動にしていくためには、若手指導者の確保が課題であると捉えている。

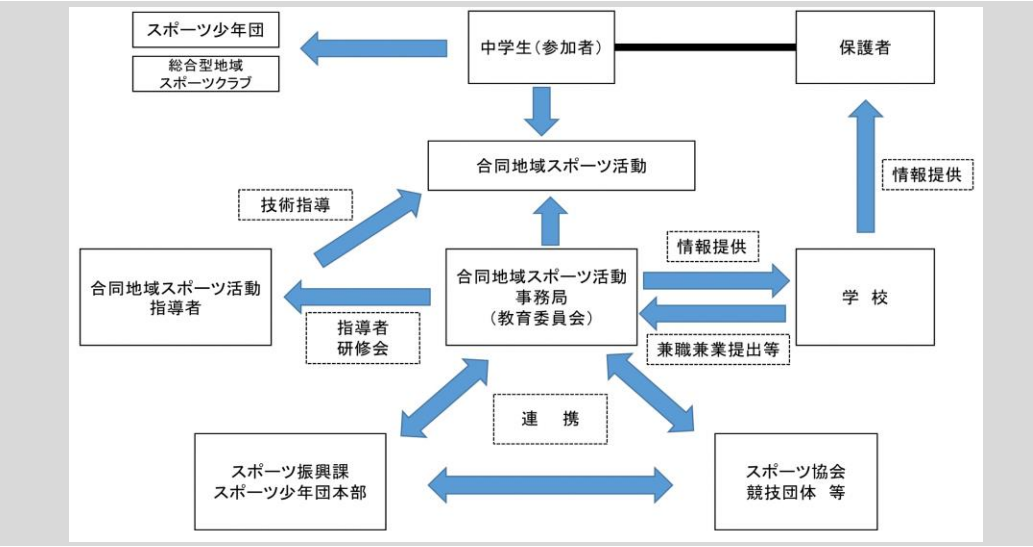
また、活動場所の確保や日程調整も課題として挙げられることから、総括コーディネーターが中心となり、計画的に調整する体制を整えていきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・休日の部活動地域移行に向けた連絡・調整
・地域スポーツ体制整備
・指導者研修会の実施
・推進計画の策定　等

◉首長部局

・運営団体や地域人材確保への協力
・地域スポーツ体制整備　等

年間の事業スケジュール

令和６年４月	令和６年度第１回協議会開催 生徒参加申込み・意向調査 指導者研修会
令和６年５月	「合同地域スポーツ活動」開始
令和６年６月	令和６年度第２回協議会開催
令和６年７月	中体連専門部との情報交換①
令和６年８月	令和６年度第３回協議会開催
令和６年10月	令和6年度第４回協議会開催
令和６年11月	中体連専門部との情報交換②
令和６年12月	令和6年度第5回協議会開催
令和７年１月	中体連専門部との情報交換③
令和７年２月	令和７年度の移行種目の決定
令和７年３月	令和６年度第６回協議会開催

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	20 校	実施した地域クラブ総数	15 クラブ
「合同地域スポーツ活動」参加している学校数	16 校	地域移行した部活動数	106 部活動
全体の指導者数	50 人	実施主体担当者数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（男女別）	実施期間	活動場所	クラブ数	指導者数（教職員数）	会費
合同地域スポーツ活動	卓球（新）	１１回 （月２回）	午前 (3h)	１４９人 男子78人 女子71人	11月～3月	秋田市立中学校施設	６クラブ	１４人 （２人）	保険料800円 ＋ 消耗品費
	柔道（新）	１６回 （月２回）	午前 (3h)	６７人 男子55人 女子12人	８月～3月		４クラブ	１３人 （５人）	保険料800円 ＋ 消耗品費
	ソフトボール（新）	１７回 （月２回）	午前 (3h)	４２人 （女子）	８月～3月		２クラブ	７人 （３人）	保険料800円 ＋ 消耗品費
	体操（新）	２２回 （月３回）	午前 (3h)	１１人 （女子）	８月～3月		１クラブ	９人 （２人）	保険料800円
	ラグビー（新）	９回 （月２回）	午前 (3h)	４４人 （男子）	11月～3月		１クラブ	３人 （２人）	保険料800 ＋ 消耗品費
	バトン（新）	１７回 （月２回）	午前 (3h)	１５人 （女子）	5月～３月		１クラブ	４人 （１人）	保険料800円

2.実証内容と成果

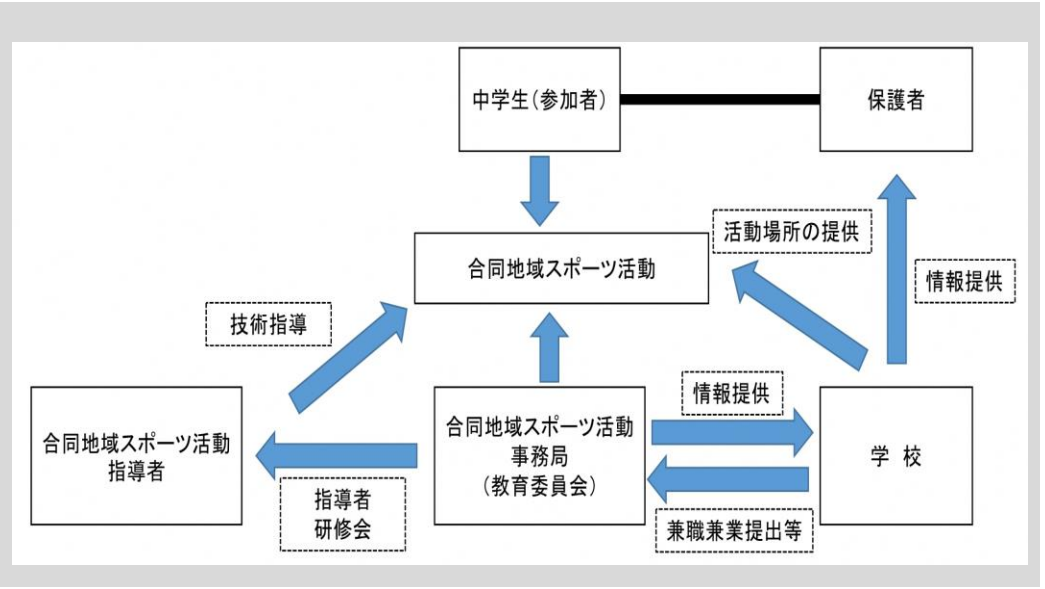
スポーツ庁

主な取組例

●地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球・柔道・ソフトボール・体操・ラグビー・バトン
運営団体名	合同地域スポーツ活動
期間と日数	バ　ト　ン：５月～３月（月２回） 柔　　道：８月～３月（月２回） ソフトボール：８月～３月（月２回） 体　　操：８月～３月（月３回） 卓　　球：11月～３月（月2回） ラグビー　：11月～３月（月2回）
指導者の主な属性	教職員、元教員　等
活動場所	秋田市立中学校体育館、グラウンド、道場
主な移動手段	徒歩、保護者による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	・個人保険料　800円 ・種目によって消耗品費等を徴収
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

○事務局
　役割：指導者研修会実施、会場校との連絡調整、種目別活動計画の周知
○種目リーダー
　役割：各種目の指導者の統括、練習日や活動場所等の日程調整
○会場リーダー　１～６人
　役割：活動日の出席者の把握、練習計画の作成、練習内容の立案等
○活動ボランティア
　役割：指導者のサポートや生徒の体調管理等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○地域移行に向けた協議会の開催

市校長会、市中学校体育連盟、市PTA連合会、関係団体等から構成する「中学校部活動の地域移行に向けた協議会」を継続して実施する。

○関係団体との個別の情報交換

市スポーツ少年団本部や市スポーツ協会、市中学校体育連盟各競技専門部等と、情報交換（年２～３回）を実施する。

○総括コーディネーターの配置

今年度から、秋田市教育委員会学校教育課内に、総括コーディネーター（会計年度任用職員・週４日勤務）を配置している。

取組の成果

・今年度の「中学校部活動の地域移行に向けた協議会」は６回実施し、立ち上げ時（令和５年２月）から合計すると16回の実施となった。主に、各団体ごとの地域移行や受入れ体制整備の進捗状況等の報告をし、課題等について協議を行ってきた。また、活動可能な団体の把握や、文化芸術団体から活動の紹介をしてもらうなど、協力体制が構築されてきている。
・市スポーツ少年団本部や市スポーツ協会等、関係団体との個別の情報交換を始めたことで、現状の把握や課題等、地域移行協議会のような全体の場で話題にならないような細かなところまで確認することができた。
・市中学校体育連盟各競技専門部代表者との情報交換では、各専門部の現状や、地域移行に向けての課題等を把握し、今後の対応を検討した。
・総括コーディネーターを中心に、関係団体と情報交換や連絡・調整を密にし、連携体制の強化を図った。また、「合同地域スポーツ活動」の巡回を行い、活動内容等について助言するなど、指導者の支援にも取り組んだ。

コーディネーターの具体的な動きの実績

○各学校・各団体等の関係者に対する地域移行に関する取組の連絡・調整、助言、情報提供
○「合同地域スポーツ活動」の巡回、指導内容や指導者に対しての助言
○地域移行協議会での先進地域の取組状況や実践例の紹介

今後の課題と対応方針

・協議会は、本市の体制づくりや方向性について共通理解を図る場となっていることから、今後も継続して実施していく。
・スポーツ協会に所属している競技団体との関わりを増やし、受け皿の確保に努める。
・総括コーディネーターの果たす役割を明確にし、効果的な活用を目指す。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○人材の発掘・配置
- ・部活動指導員、外部指導者等の把握
- ・担当する会場の振り分け

○指導者研修会の実施
- ・技術指導だけではなく、中学生への適切な指導の在り方等

○教職員の兼職兼業
- ・兼職兼業の仕組み等の教職員への周知

スタッフリスト登録者数

50人
（２月末現在）

人材バンクの年齢構成

10代	１人
20代	16人
30代	６人
40代	９人
50代	6人
60代以上	12人
平均年齢	43.9歳

派遣形態

【活動日】
- ・土曜日か日曜日のいずれか１日
- ・１回３時間程度

【謝金】
１時間１，６００円
（部活動指導員と同額で設定している）

種目別人数

- ・卓球…14人（男性13人、女性１人）
- ・柔道…13人（男性12人、女性１人）
- ・ソフトボール…７人（男性４人、女性３人）
- ・体操…９人（男性６人、女性３人）
- ・ラグビー…３人（男性３人）
- ・バトン…４人（女性４人）

資格有無

スタッフリストへ登録する際の条件として、専門種目での中学生への指導経験があることとしており、資格取得の有無については現段階では求めていない。

今後、資格の有無については、協議会でも検討していく。

取組の成果

６種目の部活動に所属している１，２年生、「合同地域スポーツ活動」に参加した３年生等の生徒を対象にしたアンケートでは、「とても楽しかった」「楽しかった」と92%の生徒が回答し、その理由として「いろいろな練習を経験することができた」が一番多く、半数以上の生徒が回答した。「合同地域スポーツ活動」の指導には、「専門種目で中学生への指導経験がある」ことを必要条件としたことから、指導者の経験が生かされ、生徒は意欲的に活動に取り組めたものと捉えている。 また、指導者を対象にしたアンケートでは、「参加者の練習に向かう姿勢が前向きに変化したことに喜びを感じた」「アドバイスを素直に聞き入れる姿を見て嬉しかった」「自身の指導方法について、考えたり、見つめ直すよい機会となった」など、指導者にとっても、有意義なものであったという回答が多かった。

その反面、「指導する生徒が多く、レベルの差も大きく（初心者への対応）指導に苦慮した」「活動日を柔軟にしてほしい」など、指導内容の設定等、戸惑うことも多かったと思われることから、次年度に実施する研修会では、今年度の活動を振り返る場も設定していきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

○中学校部活動の地域移行についての説明
・国の改革の方向性
・本市の方向性（児童生徒数、部活動数など現状を踏まえ）
○本市における休日部活動の地域移行のイメージの共有
○「合同地域スポーツ活動」について
・指導者に求められること
・職務内容の確認
○指導者の役割について
・参加者のトラブルに係る対応
・事故発生時の現場対応
・体罰、ハラスメント等の根絶に向けて

指導者研修の参加実績

・開催日：　４月 27日
・開催回数：　１回（この他に、新規登録者に対し、随時実施）
・参加人数：　33 人

４月当初に登録した指導者を対象に実施し、年度の途中から登録した指導者に対し、個別に研修を実施した

受講者の声

・部活動と、地域での活動である「合同地域スポーツ活動」の違いがよく分からなかったが、研修を受講し理解した。今後は、周りの指導者と声を掛け合って進めていきたい。
・技能や体力のレベルアップをねらいとしているのか、生涯スポーツへつなげていくための普及をねらいとしているのか疑問であったが、研修会に参加して理解できた。裾野を広げていきたい。
・あいさつや活動に臨む態度などもしっかりと指導していきたい。
・体罰やハラスメントは絶対にあってはならないこと。生徒が意欲的に活動できるよう、指導する際の声のかけ方などを工夫していきたい。

今後の課題と対応方針

・健康管理や事故防止、体罰・ハラスメントの根絶などをテーマに、「合同地域スポーツ活動」に携わる指導者全員を対象とした研修会を継続的に実施し、共通理解を図っていく。
・指導者の質を保証していくために、専門的な知見を得ることができるよう外部講師の招聘も含め検討していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

中学校部活動を段階的に地域へ移行していく（右図参照）
・合同地域スポーツ活動
・スポーツ少年団
・総合型地域スポーツクラブ
・民間事業者　等

休日部活動の地域移行のイメージ図



教育委員会の役割

令和８年度末までに全種目が地域移行できる体制づくり

令和６年度から「合同地域スポーツ活動」として６種目を地域移行し、活動を開始した。本市では、令和８年度末までに、全種目が地域に移行できる体制づくりを進めている。

今後も、自治体が中心となって、中学校体育連盟専門部や、スポーツ協会、各関係団体と情報交換を実施しながら、移行の時期や方法について検討していく。
また、生徒や保護者、教職員等に対しても、活動内容の紹介や、活動場所等、今後も丁寧な説明を継続していく。

取組の成果

「合同地域スポーツ活動」は、今年度６種目（卓球・柔道・ソフトボール・体操・ラグビー・バトン）で活動を開始した。次年度以降に移行する種目については、中学校体育連盟専門部の代表者等と情報交換を行い、令和７年度は４種目（水泳・剣道・陸上競技・新体操）が加わり、最終年度は５種目（軟式野球・バレーボール・バスケットボール・サッカー・ソフトテニス）を加え、全14種目となる予定である。

また、活動場所が複数ある種目において、ブロックごとに活動場所を確保したことにより、生徒の送迎に関する問合せがないことからも、生徒の移動距離・時間を考慮した会場設定が必要である。

今後の課題と対応方針

・生徒の様々な希望や要望に対応していくため、休日の活動の選択肢が増えるよう、各団体との協力体制を強化していきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

○学校施設の効果的な活用と教育委員会との連携

・「合同地域スポーツ活動」で使用する活動場所の選定

・マスターキー、セキュリティカードの準備

○学校施設利用に当たってのルールの策定

・施設の開閉方法

・破損、紛失時の対応　等

取組の成果

今年度、市立中学校12校の学校施設（体育館、グラウンド、道場）を使用し「合同地域スポーツ活動」を実施した。

活動場所の決定に当たって考慮したことは、１つ目は、セキュリティの解除が不要な分離管理がされている中学校。２つ目は、交通の利便性や駐車場の広さの２点であった。

１つ目については、分離管理されている学校を選定し、マスターキーやマスターカードを指導者に貸与し、会場となる学校の管理職や教職員の負担とならないようにした。

２つ目については、保護者による送迎が多く、公共機関を利用する生徒はいなかった。駐車場使用については、事前に駐車できるスペースを保護者に周知し、混乱することはなかった。

活動で使用する備品（卓球台、ロングマット、ソフトマット等）や、冬期間に使用するストーブ等は、指導者の責任の下、学校から借用し、使用することができた。

今後の課題と対応方針

・学校施設や借用した備品等で破損・紛失がなく、大きな混乱は見られなかった。

・令和７年度以降、地域移行される種目が増え、学校施設の利用が増えることが予想されることから、現在、分離管理されていない学校施設のシャッターやスマートロック、カード方式等の施設改修を進めていくことにより、活動場所の確保につなげていきたい。

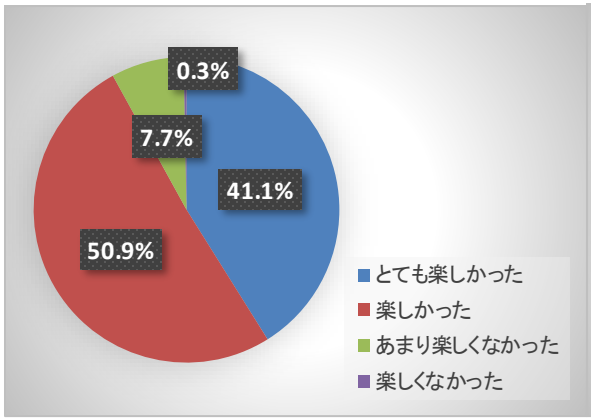
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

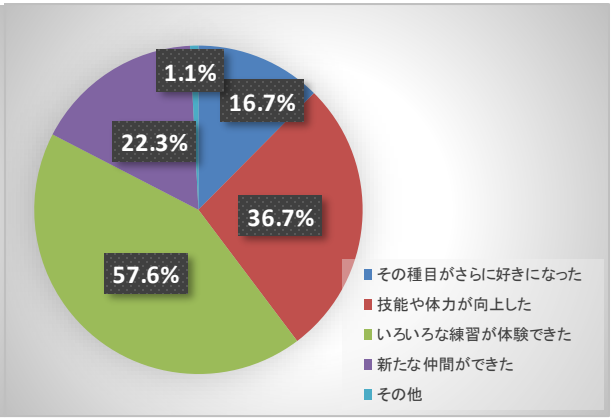
アンケート結果・参加者の声

●生徒用アンケート結果

Q. 1「合同地域スポーツ活動」の活動を通してどのような感想をもったか?



Q. 2「とても楽しかった」「楽しかった」と回答した理由は？



●参加者の声

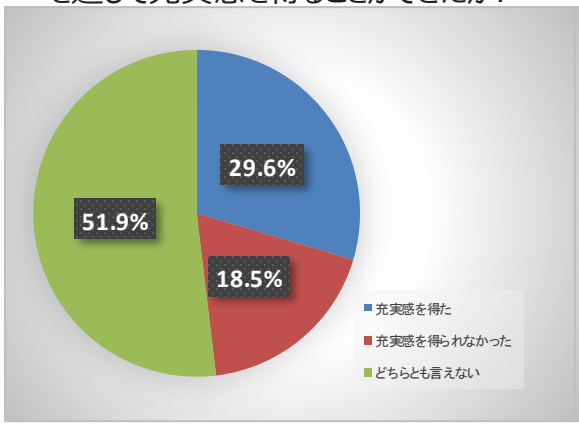
中学生（男子）
他校の仲間との練習で、もっと頑張ろうという意欲がわいてきた。

中学生（男子）
普段対することができない強い人と練習をすることができる機会となりありがたかった。

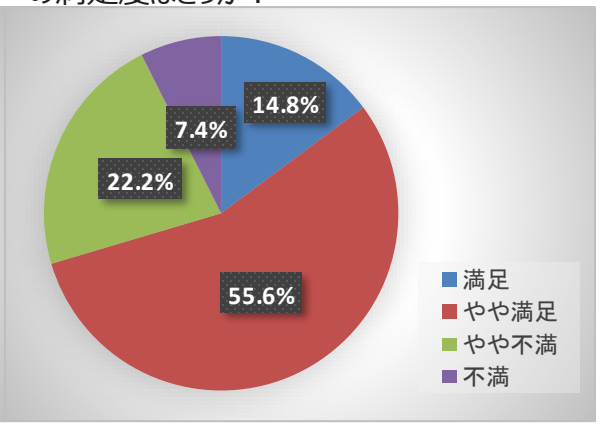
中学生（女子）
人数が多く物足りなさを感じたので、１会場で活動する人数を減らしたり、レベル別に練習を実施してほしい。

●指導者用アンケート結果

Q. 1「合同地域スポーツ活動」の指導を通して充実感を得ることができたか?



Q. 2 活動環境（活動場所・設備等）の満足度はどうか？



●指導者の声

指導者（体操）
普段の部活動での様子や、「合同地域スポーツ活動」でどのようなことを指導してほしいのかなど、顧問の先生との情報交換が必要だと感じた。

指導者（卓球）
生徒にとって、顧問の先生以外の指導者から教えてもらうことはとてもいい機会だと思う。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料

「地域移行だより」では、次月の「合同地域スポーツ活動」の活動場所や活動日、開始時間の周知、参加可能なスポーツ少年団や文化芸術団体の紹介、次年度のお知らせなど、生徒とその保護者、教職員への周知を行った。今後も、地域へ移行する種目が増えてくることから、積極的な情報提供、発信に努めていきたい。

中学校部活動地域移行だより 第8号

令和7年1月の「合同地域スポーツ活動」について

＜バトン（活動場所・日時）＞
○山王中
1／12（日） 9時～12時
1／26（日） 9時～12時

＜ラグビー（活動場所・日時）＞
○将軍野中
1／12（日） 9時～12時
1／19（日）13時～16時

＜体操（活動場所・日時）＞
○泉中
1／13（月） 8時半～11時半
1／18（土）11時 ～14時
1／26（日） 8時半～11時半

＜ソフトボール（活動場所・日時）＞
○勝平中
1／12（日）13時～16時
○御野場中
1／19（日）13時～16時

＜柔道（活動場所・日時）＞
○城東中
1／18（土） 9時～12時
○泉中
1／18（土） 9時～12時
1／25（土） 9時～12時
○御野場中
1／18（土） 9時～12時
○土崎中
1／25（土） 9時～12時





【活動の様子】
（上）卓球
（左）ラグビー

＜卓球（活動場所・日時）＞
○御野場中
1／19（日） 9時～12時
1／26（日） 9時～12時
○城東中
1／ 5（日） 9時～12時
1／19（日） 9時～12時
○秋田南中
1／19（日） 9時～12時
1／26（日）13時～16時
○勝平中
1／ 5（日）13時～16時
1／19（日）13時～16時
○飯島中
1／19（日） 9時～12時
1／26（日） 9時～12時
○将軍野中
1／19（日） 9時～12時
1／26（日）13時～16時

※「合同地域スポーツ活動」に関するQ＆Aを本市教育委員会ホームページに掲載し、随時更新しておりますので参照ください。

☐ お問合せ先
秋田市教育委員会 学校教育課 秋田市山王一丁目1番1号
電 話 018－888－5808 FAX 018－888－5804

※本たよりは、秋田市教育委員会ホームページにも掲載しています。

中学校部活動地域移行だより 第10号

中学生が休日に参加可能なスポーツ少年団を紹介します！

秋田市では、現在、「合同地域スポーツ活動」をはじめとして、スポーツ少年団や地域のスポーツクラブ、文化芸術団体など様々な団体等が、休日に中学生が活動できる体制を検討しています。
この度、スポーツ少年団本部から、休日に中学生を受け入れ可能と回答いただいた団体についての情報提供がありました。各団の連絡先は、右の二次元コードから確認できますので、参加等のお問合せにつきましては、各担当者に直接連絡してください。
なお、各団の活動場所・時間・内容等の詳細につきましては、新年度に改めてお知らせいたします。

No.	団体名	活動地区	活動日
1	牛島卓球	牛島	土
2	日新小学校剣道	日新	土
3	勝平バレーボール	勝平	土
4	外旭川野球	外旭川	未定
5	飯島少年剣道	飯島	土
6	金足西柔道	金足西	土・日
7	金足西野球	金足西	土・日
8	泉剣道	泉	土・日
9	桜男子ミニバスケットボール	桜	土
10	雄和バレーボール	雄和	土・日
11	秋田ブレイザーズジュニア VBC	全市	未定
12	BONDS バレーボールクラブ	全市	土・日
13	ブラウブリッツ秋田バレーボール jr.	全市	日
14	秋田グランディール野球	全市	土・日
15	将軍野 jr.エレファンツ野球	全市	土・日

☐ お問合せ先
秋田市教育委員会 学校教育課 秋田市山王一丁目1番1号
電 話 018－888－5808 FAX 018－888－5804

※本たよりは、秋田市教育委員会ホームページにも掲載しています。

中学校部活動地域移行だより 第12号

令和7年度の 中学校部活動の地域移行について

卓球・柔道・ソフトボール・体操・ラグビー・バトンの6種目で新たにスタートした「合同地域スポーツ活動」も、3月で今年度の活動は終了となります。「合同地域スポーツ活動」に参加した生徒等を対象に実施したアンケートでは、「新たな指導者や仲間と出会い、いろいろな練習を体験することできた」や、「個々の技能や体力が向上した」「その種目をさらに好きになった」などの声がありました。
さて、令和7年度からは、上記6種目に加え、水泳・剣道・陸上競技の3種目が、休日の部活動を地域へ移行していくこととなります。水泳と剣道は「合同地域スポーツ活動」として、陸上競技は、秋田市陸上協会が主体となり、活動を行う予定です。
5月から開始する体操・ラグビー・バトンの「合同地域スポーツ活動」については、4月に学校を通じて改めて参加募集を行います。その他の種目についても、開始時期に合わせて参加募集をします。活動場所・日時・内容等の詳細につきましては、新年度に改めてお知らせします。

令和7年度「合同地域スポーツ活動」の開始時期、活動日等について

	種目	開始時期	活動日	会場
新規	体操	5月	第1・3日曜日	泉中
新規	ラグビー	5月	月2回	将軍野中
新規	バトン	5月	第2・4日曜日	山王中
新規	卓球	8月	月1～2回	未定
新規	柔道	8月	月2回	土崎中・城東中 泉中・御野場中
新規	ソフトボール	8月	月2回	御野場中・勝平中
新規	水泳	9月	月2回	県立プール
新規	剣道	11月	月2回	未定
新規	陸上競技	未定	未定	未定

☐ お問合せ先
秋田市教育委員会 学校教育課 秋田市山王一丁目1番1号
電 話 018－888－5808 FAX 018－888－5804

※本たよりは、秋田市教育委員会ホームページにも掲載しています。

【次月の活動の周知】

【生徒・保護者への周知】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【バトン：習熟度に合わせた個別指導】



【柔道：固め技の練習試合】



【ソフトボール：全体でのウォーミングアップ】



【卓球：対戦相手を変えながら試合形式の練習】

3.今後の方向性

スポーツ庁

